

20th
ANNIVERSARY

我ら歴史の糸を紡がむ

Develop Your New Stage

1994.12 No. 92

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 藤居 忠弘 編集責任者 小原 得雄 印刷所 東京印刷株

1994年度 鳥取県中小企業青年中央会 経営研修会 開催

鳥取県中小企業青年中央会の経営研修会が、11月29日(火)米子市「ホテルサンルート米子」において東部38名、中部23名、西部80名の参加のもと開催された。

今回の研修会は「東アジア経済交流の新動向—日本海沿岸地域の発展と北東アジア経済委員会の役割—」をテーマに、日中東北開発協会・理事長 岩崎篤竟氏を講師に迎えて開催された。

講演に先立ち北東アジア地域と密接な関係が期待されるFAZ計画を、「境港FAZについて」と題し、鳥取県商工振興課主幹 斎藤明彦氏により、鳥取県における、FAZの取り組み状況について、約30分間説明いただいた。

FAZ全体として、「輸入の促進及び対内投資事業の円滑化に関する臨時措置法」に基づき、港湾・空港を中心に、市町村単位で地域設定した地域に輸入に関する施設・事業活動を集積させ、

輸入促進基盤施設を整備し、輸入の促進を図る目的の為に行なわれている。

現在、全国で18地域が承認・作成地域として検討をしている。その中で境港FAZは、鳥取・島根県8市町村(境港市・米子市・日吉津村・松江市・安来市・美保関町・八束町・東出雲町)にまたがる広い地域で、他指定地域に比べて多い市町村で形成されている。これは、全国的レベルにする為、地域が広がった。境港FAZは今年度計画作成地域指定を受けたばかりで、今後中心となって活動する第3セクターの設立が急がれている状況であり、環日本海をにらんだ計画と、境港の特性を発揮させるために、鳥取県で生まれた“氷温”を充実させ、氷温倉庫の施設設備も、盛り込んでいった方が良く、また、将来、東

鳥取県中小企業青年中央会経営研修会



アジア地域をも含めた、大きいFAZに対応出来る施設整備が望まれる。という説明があった。

引き続き、本テーマの講演が岩崎氏より行なわれた。

まず、日本東北開発協会の概要説明があり、中国の遼寧省・吉林省・黒龍江省および内モンゴル自治区の一部の中国東北地区との経済交流促進の為に1984年12月に設立され、ここ数年間、中国の改革・開放政策により、貿易額および投資額が増加傾向にあり、路線が本格化してきた現在、当協会の役割が重要なものとなった。こうした中で、情報収集等、現実的な活動が必要となり、2年前に企業から出向のかたちでスタッフを形成した、「北東アジア経済委員会」を設立し、実業をふまえた活動を現在行なっている。国連UNDPの構想による、「図們江流域開発計画」等、各開発プロジェクトへの参画、開発地域への投資、対岸地域の情報の活用等を主体として、日本と深い交流の歴史をもち、発達した鉱工業基盤を有する東北地方を中心とする地域への企業進出の案内役、また交流ルートとして、今後も活動してゆきたい。実際の活動は、各企業また、地元の人により、方向性を見出すべきもので、協会としては協力しか出来ない、ということであった。

境港FAZを推進している鳥取県は、いかに東北三省および周辺地域が重要であるか、改めて考え、参考になった企業もあったと思う。

その後同会場にて懇親会が行なわれ、アトラクションでは、来賓、講師もまじえて、大いに盛り上がり時間が惜しい気分にて無事、東中西の交流を深め終了した。

